

教学半也

令和8年7月2日

No.6

日々、人権教育を行う
全ての先生方へ

学校人権教育研修・連絡協議会【南信地区】 令和8年5月28日（木）

正しく知ることから始まるアップデート

～誰もが安心して過ごせる教室を目指して～

「校種間相互の連携を進めることで教職員の人権意識を高め、各学校での人権教育の充実を図る」ことをねらいとし、諏訪・上伊那地区の小・中・特別支援学校の先生方が箕輪町文化センターに集まり、研修会が行われました。

本年度は、「部落問題」をテーマに発信を続ける上川多実さん（BURAKU HERITAGE）を講師にお招きし、日常に潜む無意識の偏見や社会構造としての差別について理解を深める講演会を行いました。

演題 部落問題を通して考える 日常の中の差別



ご自身の経験を基に力強く語る上川さん

【参加者の感想より】



差別は心の問題（人の気持ち、思いやり）ではなく、社会構造の問題であり、時代が変わるにつれ差別の形も変化しているということを改めて知り、学び続けていかなければ無意識に差別をしてしまうかもしれない危険があると思いました。

研修会に参加するまで、「部落差別なんて今でもあるのか…?」「昔のことでは…?」と思っていましたが、差別の実態を知らないだけだったこと、また知らなくても、知らないからこそ新たな差別を生む可能性があることなどを学びました。正しく理解し、その理解した内容を正しく子供たちに伝えていきたいと思いました。



上川さんの講演をお聞きした後、「自校の人権教育にどうかしていくか」を小グループで話し合いました。講演を受け、「これまで学校が作ってきた『ふつう』を見直し、私たち教師の考え方をアップデートしていくことが必要だ」「そのために私たち教師が学び続けなければならない」と語っておられた先生方が印象的でした。



部落問題は歴史上の「終わったこと」ではなく、時代とともに形を変えて今も存在しています。正しく理解していくことを通して、だれもが安心して過ごせる学校づくりや教室づくりについて、一緒に考えていきましょう。

【お知らせ】

第2回の学校人権教育連絡協議会は、

【諏訪】 10月15日（木）米沢小学校

【上伊那】 10月23日（金）手良小学校となります。

授業を参観させていただくを通して人権教育を学ぶ貴重な機会になります。ご都合をつけてのご参加をお願いいたします。

本研修内でも紹介した人権教育指導資料集（赤本）はHPでも見られますので、ぜひご活用ください。

